

1杯の水が飲めない人がいます。



1冊の教科書もない学校があります。



1個の地雷で未来を脅かした人がいます。



1歳の誕生日を迎えられない子どもがいます。



1本の苗木からはじまる森があります。



平和と国際協力の列島シンポジウム



ピース・トーク・マラソン 2003-2007 in和歌山

～ 1人ひとりにできること。1人のためにできること。～

2004年6月12日(土) 会場: ^{かたおなみ}片男波公園 健康館 **入場無料**

開場 12:30 開演 13:00 終演 16:10

たった1本の注射が受けられないために、失われていくたくさんの命があります。たった1秒の間に、サッカー場ひとつ分の緑が今も失われ続けています。たった1度も、学校に通ったことがない子どもたちがいます。けれども、平和で豊かな日本で暮らしている私たちは、この地球の上で起きているさまざまなことを、ふだんあまり考えずに過ごしてしまっています。そんな私たちだからこそ、考えること、行動することが大切なのではないのでしょうか。かけがえのない1人ひとりの命のために、そして笑顔のために、私たち1人ひとりができることを。

ピーストーク

テーマ

「世界見聞録

“ サドルの上で考えた
平和と国際協力”

坂本 達氏 (株)ミキハウス



坂本 達氏

ピースメッセージ

テーマ

「私達にできること

“ 和歌山のとりくみ”

- ・ 林 良昭氏(国際理解研究会 会長)
- ・ 地元高校生の皆さん(和歌山県国際交流協会ボランティア)



主催: 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 産経新聞大阪本社 全国地方新聞社連合会

後援: 外務省 和歌山県 和歌山市 和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、財団法人和歌山県国際交流協会 財団法人和歌山県人権啓発センター、共同通信社 和歌山大学、和歌山リビング新聞社